

令和5年度

第1回 磐田市文化財保護審議会 報告

- 1 日時 令和5年10月19日(木) 13:30~16:00
- 2 場所 磐田市埋蔵文化財センター 2階 研修室
- 3 出席者 磐田市文化財保護審議会委員 8名
中山正典会長 加藤理文副会長 増田千次郎委員
鈴木敬雄委員 坪井俊三委員 佐口節司委員
小杉達委員 多々良明夫委員
事務局 7名
藺田教育部長(途中退席)・竹内文化財課長・神谷課長補佐
室内調査G長・木村歴史文書館館長・谷口主任・森本主事
- 4 傍聴人 なし
- 5 議事
 - 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 教育長あいさつ
 - 4 正副会長選出
 - 5 正副会長あいさつ
 - 6 審議事項
 - ①-1 矢奈比売神社獅子頭および見付天神祭器装古絵図
〔事務局からの説明〕
 - ・見付天神裸祭保存会が各町に対し実施したアンケート調査の結果、他にも有形民俗文化財に値する可能性がある資料の存在が明らかとなった。事務局ではこれらと合わせて改めて審議していただきたいので、今回は審議を取り下げる。
〔主な質問・意見〕
 - 【佐口委員】 悉皆調査をするということか。
→市単独では難しいと考えており、保存会からの協力を得ながら調べていきたい。
 - ①-2 掛塚祭竹馬行事指定について
〔事務局からの説明〕
 - ・令和3年度から継続して審議している案件。
 - ・竹馬は、掛塚東町が掛塚祭の御輿行列で担う役割。
 - ・天狗の面を被った竹馬がバレンと呼ばれる竹で辻ごとにケガレを払う行事。
 - ・指定に伴い、掛塚祭の全体指定と個別指定の2案を提案した。
 - ・今後、県指定候補になることも視野に入れている。

〔主な質問・意見〕

【増田委員】昔の祭りの様子も把握することで変わらずに残り続けている価値観を見出して、指定すると面白いのではないかと考える。

【小杉委員】竹馬行事は、遠州では珍しい行事。町場から少し離れた東町が工夫して、祭りで先頭に立つ役割を担っていることを考えると個別指定するのが良い。

【加藤委員】掛塚祭全体の県指定を見据えて、今回は、個別指定が良いのでは。

・次回、掛塚祭竹馬行事を磐田市指定無形民俗文化財候補として審議を行う。

①-3 寺谷用水旧絵図

〔事務局からの説明〕

・絵図は昨年7月に寺谷用水土地改良区から寄贈されたもので、今年度保存修理を実施し、完了した。

・寺谷用水を中心に用水の受益地のある村々を描いた絵図。領主や川の流路から製作年代は宝暦年間（1751～1764）とされる。

・領主名、村名、石高などの各村の情報や寺谷用水からどのように水路を導いたかが分かる貴重な資料。

・文化財の種別は古文書としての指定を考えている。

〔主な質問・意見〕

【坪井委員】各村の村高や相給も書かれており、一級資料と考える。

【中山委員】寺谷用水と各村が描かれている絵図は本当に貴重な資料と考える。

・寺谷用水旧絵図を磐田市指定有形文化財（古文書）に指定する答申書が提出された。

7 報告事項 ①遠江国分寺跡整備事業進捗状況について

・昨年度は、僧房跡と講堂跡の復元が完了した。

・今年度は、金堂跡の復元工事を実施する。復元には当時、使われたとされる礎石を再利用する。不足部分は、擬石品を使用する予定。

②新豊院山古墳群の崖面崩落対策について

・今年度は、法面工事の方法を検討するために崖地の測量などの予備設計を実施している。来年度以降は、文化庁と協議しながら詳細設計や地質調査を進めていく。

③旧見付学校附磐田文庫保存活用計画作成進捗状況について

・計画概要の説明

・計画は今年7月に文化庁から一応の了承を得た。今後は、保存活用計画作成協議会で内容を審議する予定。

④登録有形文化財（建造物）登録候補について

-寺谷用水神田取水口

- ・当物件の所有者が特定できず、申請は断念となった。

-掛塚地区個人住宅・土蔵

- ・所有者から残したい旨の意向があった物件。

- ・事務局は登録に向けて進めている。

- ・登録候補として12月に文化庁が現地調査予定。

⑤寺谷用水関係資料調査の進捗状況について

- ・本審議会の審議事項に挙げた寺谷用水旧絵図の保存修理が完了した。

- ・次回の審議会では、江戸時代の寺谷用水や土地利用などが分かる匂坂中村絵図を指定候補として挙げる予定。

- ・寺谷用水関係史資料の作成に向け、寺谷用水土地改良区の石蔵内に残る文書の抽出などを進めている。

⑥文化財啓発事業

- ・令和5年4月から令和5年10月の普及啓発事業実績を報告。

⑦文化財調査実績

- ・令和5年4月から令和5年10月に実施した有形・無形文化財、埋蔵文化財調査実績を報告。